

事後評価説明資料

社会資本整備総合交付金事業 「阪急茨木市駅及び JR茨木駅周辺におけるまちづくり」

【内容】

1. 社会資本総合整備計画で定める事業内容
2. 目標値の達成状況と事業効果の発現状況
3. 今後の方針等

1. 社会資本総合整備計画で 定める事業内容

(1) 整備検討区域図



(2) 事業の概要

交付対象事業

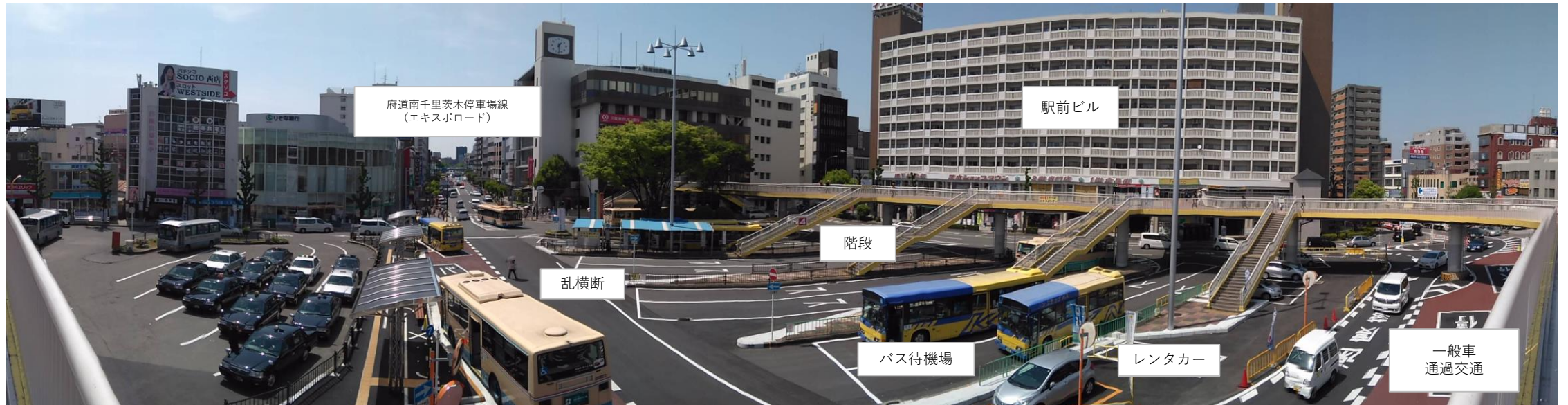
番号	事業 種別	要素事業名	事業内容	事業実施期間（年度）			事業費 （百万円）
				H27	H28	H29	
1-A-1	再開発支援	都市再開発支援事業（阪急茨木市駅前地区）	地区再生計画（案）策定 約2.1ha				25
1-A-2	再開発支援	都市再開発支援事業（JR茨木駅前地区）	地区再生計画（案）策定 約2.5ha				16
							全体事業費 41

(3) 現況写真

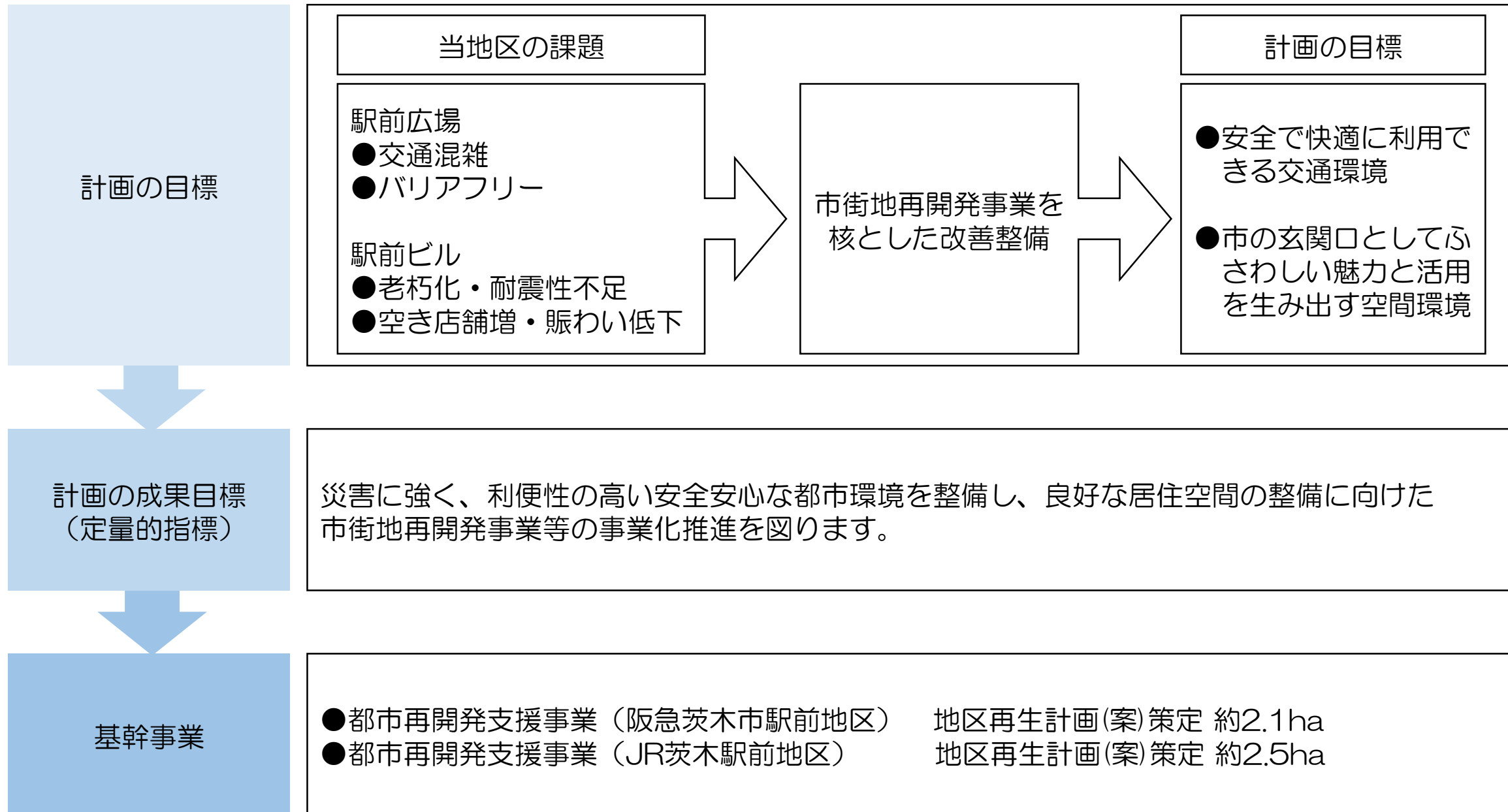
1-A-1都市再開発支援事業（阪急茨木市駅）



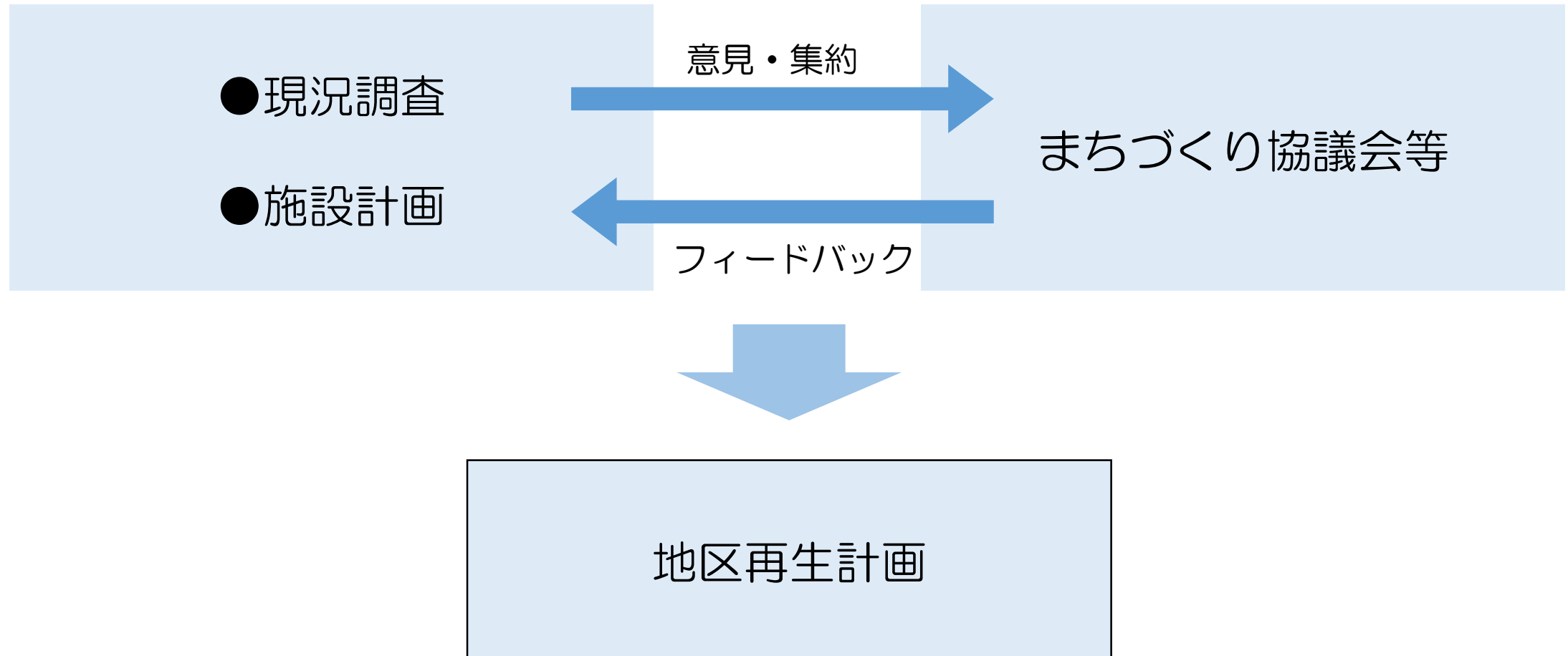
1-A-2都市再開発支援事業（JR茨木駅）



(4) 整備方針



(5) 事業内容



(6) 目標・整備方針と指標の関係

計画の成果目標

災害に強く、利便性の高い安全安心な都市環境を整備し、良好な居住空間の整備に向けた市街地再開発事業等の事業化推進を図ります。

指標1

市のまちづくりに関わる合意形成率割合（％）

＝事業に合意している土地所有者の権利割合/全土地所有者の権利割合（阪急茨木市駅）

指標2

市のまちづくりに関わる合意形成率割合（％）

＝事業に合意している土地所有者の権利割合/全土地所有者の権利割合（JR茨木駅）

指標1、2の補足指標として

事業に合意している権利者数の割合（％）＝事業に合意している権利者数/全権利者数

◆指標1：市のまちづくりに関わる合意形成率割合（％）（阪急茨木市駅）

①現況値の算出

- (1) 算出時期→平成26年12月（整備計画作成時）
ソシオ茨木臨時総会（市街地再開発事業による建替え賛同）
- (2) 算定式→事業に合意している土地所有者の権利割合/全土地所有者の権利割合

②実績値（今回）の算出

- (1) 算出時期→平成29年4月
ソシオ茨木臨時総会（都市計画要望案による建替え賛同）
- (2) 算定式→事業に合意している土地所有者の権利割合/全土地所有者の権利割合

現況値
80%
（平成27年度当初）



目標値
95%
（平成29年度末）

◆指標 2 : 市のまちづくりに関わる合意形成率割合 (%) (JR茨木駅)

①現況値の算出

データなし

②実績値の算出

- (1) 算出時期→平成29年1月 茨木駅前ビル臨時総会（市街地再開発事業による建替え賛同）
平成30年12月 まちづくり協議会（今後のまちづくりに関するアンケート調査）
- (2) 算定式→事業に合意している土地所有者の権利割合/全土地所有者の権利割合

現況値
データなし
(平成27年度当初)



目標値
80%
(平成29年度末)

2. 目標値の達成状況と 事業効果の発現状況

◆指標1：市のまちづくりに関わる合意形成率割合（％）（阪急茨木市駅）

【目標値の達成状況】

目標値
95%
(平成29年度末)

実績値
77%
(平成29年度末)

数値目標を未達成

目標値と実績値
に差が出た要因

権利割合の大きい権利者の賛同を得ることができなかったため、現況値から横ばいとなり、目標値を達成できなかったが、事業に合意している権利者数の割合は増加した。

●補足指標の達成状況

事業に合意している権利者数の割合（％）＝事業に合意している権利者数/全権利者数

①現況値の算出

- (1) 算出時期→平成26年12月（整備計画作成時）ソシオ茨木臨時総会
- (2) 算定式→事業に合意している権利者数/全権利者数

②実績値の算出

- (1) 算出時期→平成29年4月ソシオ茨木臨時総会
- (2) 算定式→事業に合意している権利者数/全権利者数

現況値
93.23%
(平成27年度当初)

実績値
96.26%
(平成29年度末)

・合意割合が増加

◆指標2：市のまちづくりに関わる合意形成率割合（％）（JR茨木駅）

【目標値の達成状況】

目標値
80%
(平成29年度末)

実績値
86%
(平成30年度末)

数値目標を達成

目標値と実績値
に差が出た要因

想定区域内において関係権利者の意識醸成および協議会の場を立ち上げ、事業の枠組みを勉強する機会を設けるとともに、持続可能なまちづくりについて共有することができたため、事業に対する理解度は高く、それが今回の結果に繋がったと考えられる。

●補足指標の達成状況

事業に合意している権利者数の割合（％）＝事業に合意している権利者数/全権利者数

①現況値の算出
データなし
②実績値の算出
(1) 算出時期 平成29年1月 茨木駅前ビル臨時総会（市街地再開発事業による建替え賛同） 平成30年12月 まちづくり協議会（今後のまちづくりに関するアンケート調査）
(2) 算定式→事業に合意している権利者数/全権利者数

現況値
データなし
(平成27年度当初)

実績値
71.83%
(平成30年度末)

◆定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況

【阪急茨木市駅】

定量的指標の最終目標値を達成できなかったが、事業に合意している権利者数の割合は93%（H27当初）から96%（H29末）に増加しており事業に対する機運が高まっていることが伺える。

【JR茨木駅】

定量的指標の最終目標値を達成することができ、事業に対する機運が高まっていることが伺える。

◆定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

阪急茨木市駅では、駅前周辺の将来像を共有する場となる学集会が開催されるとともに、駅前ビルでは将来にわたって持続可能となるまちづくりに向けたエリアマネジメント部会が立ち上がった。

JR茨木駅では、関係権利者の意識醸成を図り、西口周辺まちづくりについて考える場となる協議会が立ち上がった。

権利者の生活再建等を含む事業計画をより具体化させなければ、権利者との合意形成が困難であることが判明し、事業推進への課題が明確になった。

3. 今後の方針等

今後の方針等

早期の事業化に向け、関係者との協議を進め、着実な事業進捗を図っていく。